

シルクのまちづくり市区町村協議会 令和元年度第1回幹事会 会議概要

1. 開催日時 令和元年7月4日（木）14時00分～16時00分
2. 開催場所 大日本蚕糸会 蚕糸会館6階 会議室
（東京都千代田区有楽町1-9-4）
3. 出席者 ○15会員自治体22名
（鶴岡市1名、結城市1名、小山市1名、富岡市2名、前橋市2名、十日町市1名、小松市1名、富士吉田市1名、駒ヶ根市1名、安曇野市1名、長浜市1名、京丹後市2名、西予市2名、奄美市1名、岡谷市1名）
○オブザーバー3名
（経済産業省 関東経済産業局1名）生活製品課欠席
（農林水産省 生産局1名）
○協賛団体2名
（大日本蚕糸会2名）
○事務局サポート1名
（NPO法人日本染織文化振興会）

4. 会議の経過と結果概要

■開会

■協議事項（進行：長野県岡谷市 ブランド推進室 伊藤室長）

1. 平成30年度事業報告について

資料に基づき、山形県鶴岡市（三浦主事）から説明

⇒ 異議なし

2. 令和元年度事業計画（案）について

（1）年間スケジュール及び（2）総会及び連携事業について

資料に基づき、事務局から説明

・総会（年1回）の開催

⇒ 令和元年8月21日に、岡谷市で開催する。昨年同様、（年度末は天候等が心配されることから）この日程としたい。（次期会長の西予市と調整済み）。なお、併せて関連イベントとして、岡谷蚕糸博物館開館5周年記念事業「日本のシルク文化とその魅力を世界へ！」を連携事業として開催し、同時に岡谷市内の近代化産業遺産群等の視察研修を開催する。

・幹事会（年2回）の開催

⇒ 第1回は、令和元年7月4日、蚕糸会館にて開催。

第2回は、令和2年2月～3月頃に開催を予定。

年度まとめの幹事会とし、研修事業、引継会等も併せての開催としたい。

(3) 情報提供について

①経済産業省 関東経済産業局 小坂様

資料に基づき説明

⇒NEXCO 及び周辺自治体の協力により「絹のみち広域連携プロジェクト」を昨年までに3回開催し、今年度も10月から来年1月の期間でスタンプラリーを実施予定。10月12日には上郷SAにてイベントを考えている。今後詳細を詰めていくことになるが、関係自治体の皆さんにはPRとともにご協力をお願いしたい。

②農林水産省 生産局 伊藤様

⇒補助事業の第3次公募動向あり。繭、生糸を繊維以外の新たな用途への活用を内部検討するとともに、関係自治体、機関からの意見聴取なども行いながら、産業として残すため皆さんにもご協力をお願いしたい。

③大日本蚕糸会 常務理事 寺野様

⇒現在、大日本蚕糸会では、養蚕・製糸に関して様々な助成事業を行っているが、来年度(2020年度)までの事業となっている。再来年度以降の助成事業の内容について検討を進めており、今後、製糸関係団体(製糸メーカー、機屋、農家など)との意見交換も含め、養蚕・製糸などの維持に努めながら、まちづくりに従事する市区町村との連携も重要であると考えている。今後の対策の中で、協議会の会員自治体をはじめとする、養蚕・製糸産地の維持とまちづくりが上手く連携が図れる方法を模索していきたい。現場の実情を知る自治体の皆さんからも意見をお聞きし、再来年度以降の助成事業に反映していきたいと考えているのでご協力をお願いしたい。

・大日本蚕糸会 業務部長 廣瀬様

資料に基づき説明

⇒昨年度に続き、私どものアンテナショップである「ジャパンシルクセンター」の活用について、シルクのまちづくり市区町村協議会の会員自治体は、絹製品の展示・販売に併せて物産販売・展示等のイベントに利用することが可能。昨年度まで、全面的貸出しをしていたが、今年度から階段で上がる上段部分のみとしたい。平日の使用料は無料であるが、土・日曜日のご希望の場合は空調等の実費分として1日5千円を負担いただく。(詳細については別紙のとおり)
ご希望があればお問い合わせいただきたい。

③NPO法人日本染織文化振興協会 理事長 慶野様

⇒独自のイベント等はないが、東京で開催される着物振興会の事業は統括している。着物愛好家が集まるイベントを夏(200人ほど)、秋(延べ1千人の参加者あり)に予定されており、希望があれば資料配布が可能。また、他の着物関連イベントの主催者に同様の働きかけも可能であるので、お問い合わせください。

⇒全体をとおして、異議なし

3. その他

(1) 役員体制について(事務局より)

資料P12にて今年度の体制を説明

(2) HP掲載情報更新について（事務局より）

HPを最新情報にする旨の依頼をさせていただくので、協力をお願いします。

(3) フランス リヨン市「シルクをキーワードとした国際都市・都市圏ネットワーク」の構築について（鹿児島市より提議あり事務局説明）

・この件について、リヨン市が世界各国の都市に参加を呼びかけており、11月22日（金）には調印式が行われる予定。情報では、日本の4都市（横浜市、富岡市、京都市、つくば市）が招待されている。

鹿児島市は、フランスとの交流もあることから自治体国際化協会パリ事務所からリヨン市へ紹介したいとの連絡があったが、情報が乏しく他市の状況も確認しながら参加を検討したい。

① 案内の有無・②案内がある場合の対応の2点について伺いたい。

⇒回答自治体

富岡市：三川係長

富岡市には、リヨン市とメトロポルリヨン（リヨン市周辺都市ネットワーク団体）から手紙があった。詳細は記載されておらず、他自治体などへ情報収集をしている段階。手紙には、シルクに関するネットワークを構築したいとの内容のほか、シルク製品以外の使用や新たなシルクの開発（遺伝子等）、伝統的な産業文化を軸に活動していくとあったが、具体的な内容はなかったので情報収集しつつネットワークへの参加や調印式の出席など方針を決定したい。

京丹後市：高橋部長（情報提供）

主導団体が不明であるが、2018年11月16日にリヨン市でネットワーク設立の準備会議が開催された。その後、同年に「第1回シルク in リヨン」とする会議が開催されている。今回は、フランス絹連盟（絹業界団体）、リヨン都市議会（リヨン市及び周辺の広域連合体）、リヨン市が連携して、今年11月21日～24日の期間で「第2回シルク in リヨン」として開催が予定されている。

第1回（2018年）は基本的に中国を対象として声掛けし、関係者を招聘して会議を開催。第2回は対象を日本として開催したいのがリヨン市側の意向で、特に京都に焦点をあてている。併せて「都市圏ネットワーク」を構築したい考えもあり、リヨン市とも親交のある、横浜市、京都市、富岡市、つくば市に招待状が送付された模様。

今年開催の第2回では期間中に、京都市を特別招待都市として招待し、国際都市ネットワーク構築の締結式を行いたいようである。（京都市、京都府に連絡あり）先方の意向は、知事、市長、副知事、副市長クラスの出席の検討依頼がある。京都府、京都市の対応は、現段階で検討中。この件で中心となる京都市は、参加できない方向での検討がされている。

また民間では、京都市の絹関係である西陣織工業組合がこの件で動きがあるほか、絹糸を扱う松村（株）が事務局的に動いている噂がある。

期間中には、会議や締結式のほか展示会の開催も予定されている。出展数は前回並みの30社でフランスをはじめ、世界各国から集めたい意向があり、日本の数社に声が掛けられている。

現時点では正確な情報がなく検討しにくい所であるが、先ほど話した松村（株）の専務さんが、先週現地で話をしてきたとの情報があるので、来週中には情報が入手できるのではないかと。

現時点では、鹿児島市さんへ提供できる正確な情報はないが、京都市の担当者へ話を繋げることはできるので、よろしければ私宛に連絡をしてほしい。

この件に関して話の方向としてはいいものであるが、予算なども絡む話なので正確な情報が入手でき次第、岡谷市を通じて協議会の皆様にも情報提供したい。

⇒京丹後市 高橋部長さんからの情報を元に、連絡調整させていただき協議会内で情報共有したい。

■ 各産地の状況報告や取組紹介など（自己紹介を兼ねて）

■ 閉会

【令和元年度 第1回幹事会の様子（大日本蚕糸会 蚕糸会館6階 会議室）】

